



いっぺいといっぱく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えます。
市HP「よぜがもん」もぜひご覧ください。

2021年12月に文化の家で、東海・北陸地区の小学校の家庭科の先生が集まり、成果を発表する大会が行われました。その際に市長が行った開催地あいさつを抜粋して紹介します。

Vol.94 教科書に載らないこと

いただいた資料の中に、家庭科教育の目標は、「子ども達の自立であり、より良い生活を自ら作り出していく力の育成」「豊かな生活を作り出すことを楽しむ」と記されていました。

みなさんの自治体にも、教育大綱があると思います。本市の教育大綱は、「自然共生」「地域共存」「多様性の尊重」の3つです。教育委員のみなさんと私が、一緒に決めた教育大綱ではありますが、実は「非常に難しいことを掲げたなあ」と思っています。

自然と共生すれば、春には虫が発生し、秋には枯れ葉が落ちます。自然と共生すると、それは当たり前のことだけれども、虫も落ち葉も許せなくて、役所に「なんとかして」と電話が入ります。

地域と共存すれば、隣近所ともめることもあります。仕事がお休みの日でも、地域で行われる掃除には出なければいけない。だけど、隣同士で話し合うのは面倒だから、困ったことは「行政に言おう」となってしまう。

「多様性を尊重しよう」と口で言うのは簡単ですが、これが一番難しいと思っています。違う意見の人と付き合うのは、実は面倒でわずらわしいことです。

「人間関係が上手くいかないから、電車で火をつける。人を殺す」。そんな事件が、立て続けに起こりました。「人と付き合う」ということは、自分の思い通りに上手くいくことばかりではないことは、経験を重ねることでは学べません。指導要領や教科書に書いてあるだけでは、決して学べないことです。

私達大人が、「面倒だ」「わずらわしい」と遠ざけてきたことが、実は、家庭科教育でめざす「より良い生活、豊かな生活」のために必要なように思います。いろいろな人と触れ合い、付き合い、そうした今は「わずらわしい」と思う風景が、子ども達から見て、当たり前になる世の中にしていかなければならないと思っています。

生活や暮らしには、「正解も終わりもない」と言われています。家族が亡くなって悲しくても、お腹がすくし、洗濯もしなければなりません。

大人にとって学校や行政は、「仕事の間」であり、「生活の間」ではありません。先生達が、「正解が大事」「効率的なことが大事」という「仕事の間」の価値観を持ちながら、子ども達に正解のない生活や暮らしを教えることは本当に難しいことです。「それも有り、これも有りなんだよ」という、教科書に載らない、数字にならないことを、子ども達にたくさん、経験してもらうことが必要だろうと思います。

壇上から偉そうなことを申し上げました。先生方と行政が、一緒に悩み、考えなければならぬ時代がきたように思います。私達行政が、どうしたらいいのかぜひ、これからもご指導くださるようお願い申し上げます。

ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは！ **西小学校区まちづくり協議会** 検索 です。

まちの皆さんを応援します
西小学校区まちづくり協議会では

- ・子どものためのイベントを企画したい
- ・ステーションで趣味の講座を開きたい など

地域住民のための事業の企画、共生ステーションでのプログラムの提案などを随時受け付けています。まずは、共生ステーションでまちづくり協議会の相談員にご相談ください。お待ちしております。

☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
Eメール nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞 小学校区まちづくり協議会
0561-61-5914
<https://ichigahora.jimdofree.com/> (協議会HP)

Twitter(ツイッター)始めました

市が洞まちづくり協議会では、地域の情報の新たな発信ツールとして『Twitter(ツイッター)』を始めました。まちづくり協議会や共生ステーションなど、市が洞エリアを中心に地域の情報を発信していますので、ぜひフォローをお願いします。

※アカウントの運営は、愛知淑徳大学と連携して行っています。

まち協アカウントはこちら →

長久手市地域見守り安心ほっとライン 0561-63-5556 24時間 365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

この広報紙の無断転載を禁じます。視覚障がい者のみなさんにも家族から読んであげてください。



この広報紙は、植物油インキを使用しています。



この印刷製品は、環境に配慮した製材工場で製造されています。